# 香港株式市場フラッシュ

## 越境 EC で見直されるアリババ、金融緩和の中国経済

リサーチ部　笹木和弘
Tel: 03-3666-6980
E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

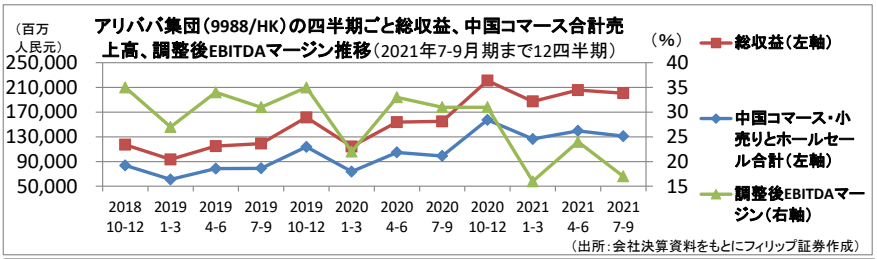
2022 年 1 月 26 日号(1 月 25 日作成)

### ”中国・アセアン連携の越境ECで見直されるアリババ集団“

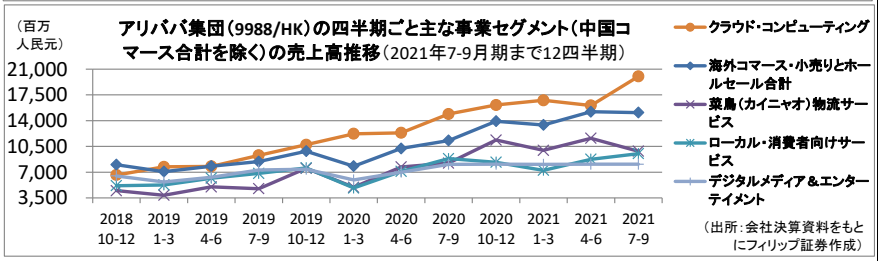
前回(2022年1月12日号)の「RCEP発効で躍進が期待される中国物流企業」で述べたように中国・アセアン間のライブビデオ配信による越境Eコマース(EC)が急成長している。その越境ECの販売プラットフォームおよび金融サービスを提供する主役と位置付けられるのは、**アリババ集団(9988/HK)**だろう。

同社は昨年、取引先に対してアリババの競合企業と取引しないように迫ったことが独占禁止法違反と認定されて約3,000億円相当の罰金処分を課された。それに加え、低価格の共同購入型EC「ピンドゥオドゥオ」の急速な台頭に対抗する目的から、競合のテンセントと提携した低価格販売ECプラットフォーム「淘宝(タオバオ)特価版」に注力。これが利益率を低下させる要因となった。更に、中国政府によるテック企業への規制強化を受けて株価は2020年11月の過去最高値から60%以上下落。

その一方、海外向けECである「海外コマース」はクラウドコンピューティングに次ぐ売上成長事業となっている。海外向けECの中でもシンガポール拠点の「ラザダ」は東南アジア最大級のECプラットフォームとして、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの6ヵ国でサービスを提供。1つのアカウントで6ヵ国の越境ECを管理できる。アリババが有する中国とアセアンのECプラットフォームが一体化されれば、同社の成長加速が期待されよう。



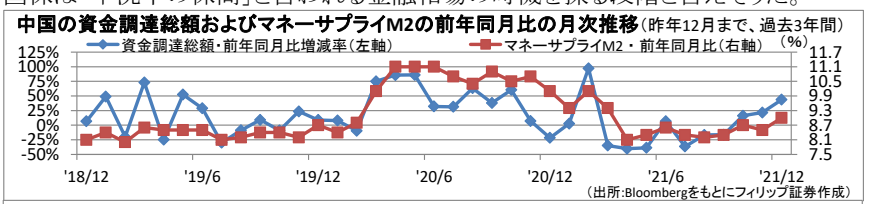
(出所:会社決算資料をもとにフィリップ証券作成)



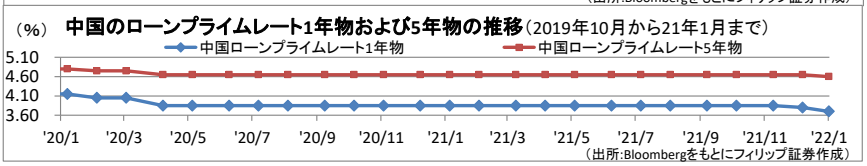
(出所:会社決算資料をもとにフィリップ証券作成)

### ”金融緩和サイクルに差し掛かる中国経済“

世界経済は現在、景気拡大局面に差し掛かりインフレ率が上昇。米国ではFRBによる利上げと総資産縮小が懸念される一方で、中国経済は信用引締めと規制強化による経済活動の抑制から、不動産業界の信用不安などに備えるため金融を緩和する局面にあるとみられる。中国人民銀行は1/20、新規貸出金利の指標となるローンプライムレートの1年物を3.7%と2ヵ月連続で引き下げ、5年物も4.6%と0.05ポイント引き下げた。資金調達総額やマネーサプライも前年同月比で上昇が加速中。中国株は「不況下の株高」と言われる金融相場の時機を探る段階と言えそうだ。



(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全85銘柄)における終値の2021年末来騰落率

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄
(全85銘柄)

前回基準日:　20220111　　基準日:　20220125

| 順位 | 2021年末来騰落率・上位10銘柄 | (%) | 前回順位 |
|---|---|---|---|
| 1 | 中国海外発展 [ﾁｬｲﾅｵｰﾊﾞｰｼｰｽﾞﾗﾝﾄﾞ&ｲﾝﾍﾞｽﾄ] | 25.9 | 2 |
| 2 | 龍湖集団[ロンフォー・グループHldg] | 23.7 | 3 |
| 3 | 中国銀行(香港) [BOCホンコン] | 16.6 | 8 |
| 4 | Kuaishou Technology(快手) | 15.1 | 6 |
| 5 | 中国海洋石油 [CNOOC] | 15.1 | 19 |
| 6 | 華潤置地 [チャイナ・リソーシズランド] | 14.8 | 5 |
| 7 | 金沙中国 [サンズ・チャイナ] | 14.5 | 69 |
| 8 | 中国中信[シティック] | 14.0 | 16 |
| 9 | 銀河娯楽 [ギャラクシー・エンターテインメント] | 13.4 | 38 |
| 10 | 中国移動 [チャイナモバイル] | 11.8 | 13 |

| 順位 | 2021年末来騰落率・下位10銘柄 | (%) | 前回順位 |
|---|---|---|---|
| 85 | ビリビリ | -25.7 | 85 |
| 84 | 瑞声科技[AACテクノロジーズ・ホールディングス] | -20.5 | 15 |
| 83 | Weimob Inc(微盟集団) | -17.5 | 67 |
| 82 | 舜宇光学科技(集団)[サニーオプチカル・テクノロジー] | -17.1 | 80 |
| 81 | 比亜迪電子(国際) [BYDエレクトロニック] | -15.9 | 70 |
| 80 | 吉利汽車控股[ジーリー・オートモービル・HDS] | -15.4 | 83 |
| 79 | 万国数拠服務 [GDSホールディングス] | -13.7 | 74 |
| 78 | 創科実業[テクトロニック・インダストリーズ] | -13.1 | 78 |
| 77 | 新奥能源控股[ENNｴﾅｼﾞｰ・ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ] | -12.9 | 73 |
| 76 | 比亜迪 [BYD] | -9.1 | 79 |

(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## 【2022年1-2月の中国主要経済指標】

**●1月14日(金)**
・12月貿易収支:前回＋717.2億USD、**結果＋944.6億USD**

**●1月15日(土)**
・12月新築住宅価格<前月比>:前回▲0.33%、**結果▲0.28%**

**●1月17日(月)**
・12月小売売上高<前年同月比>:前回＋3.9%、**結果＋1.7%**
・12月鉱工業生産<前年同月比>:前回＋3.8%、**結果＋4.3%**
・1-12月固定資産投資<前年同期比>:前回＋5.2%、**結果＋4.9%**
・1-12月不動産投資<前年同期比>:前回＋6.0%、**結果＋4.4%**

**●1月20日(木)**
・1年ローン・プライムレート:前回3.80%、**結果3.70%**
・5年ローン・プライムレート:前回4.65%、**結果4.60%**

**●1月27日(木)**
・12月工業企業利益<前年同月比>:前回＋9.6%

**●1月30日(日)**
・1月製造業購買担当者景気指数(PMI):前回50.3
・1月非製造業購買担当者景気指数(PMI):前回52.7
・1月財新製造業購買担当者景気指数(PMI):前回50.9

**●2月7日(月)**
・1月財新ｻｰﾋﾞｽ部門購買担当者景気指数(PMI):前回53.1
・1月外貨準備高:前回3.250兆USD

**●2月9日(水)-15日(火)**
・1月資金調達総額:前回2.36兆元
・1月新規人民元建て融資:前回1.13兆元
・1月マネーサプライM2<前年同月比>:前回＋9.0%

**●2月16日(水)**
・12月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>:前回＋1.5%
・12月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>:前回＋10.3%

(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成)



PhillipSecuritiesJapan
A Member of PhillipCapital

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社　〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号
TEL:03-3666-2101　　URL：　http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人　日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト　笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則　平 14.1.25」に基づく告知事項＞
・　本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。